



## タイ経済最新情報

### 3月のタイ景気は前月より成長が鈍化

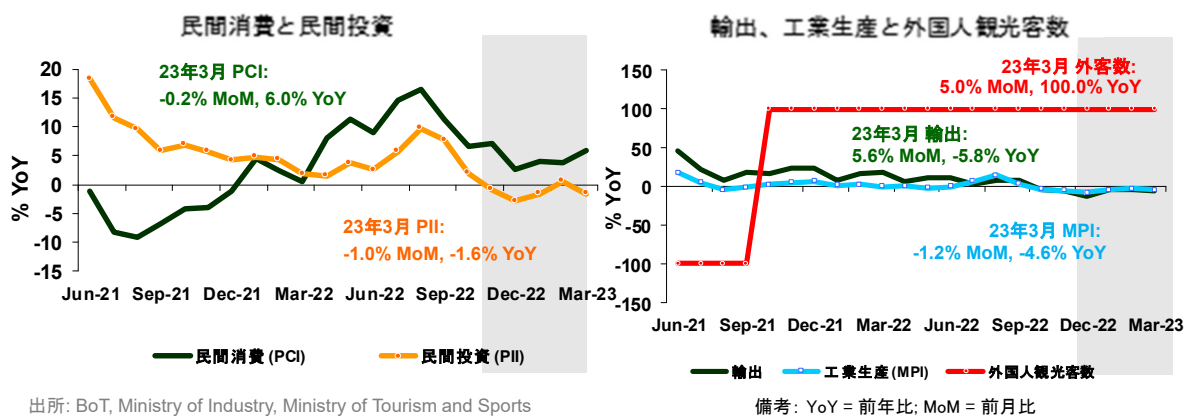
#### 要点

- 2023年3月のタイ経済は前月より成長が鈍化しました。輸出は収縮したものの、底を打ったものと推定されます。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復を背景に、サービス部門などの個人消費の改善がみられます。また、輸出停滞の要因で製造業の生産や民間投資を下押ししています。
- 2023年4月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比2.67%上昇しましたが、16ヶ月で最低水準となりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.66%増で、前月から減速しています。
- カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ鶏肉の輸出額が4.5%増の42億6,000万米ドルになると予測しています。欧州連合（EU）や米国、日本における鳥インフルエンザの流行が輸出を後押しする見通しです。また、2023年の鶏肉の平均小売価格は、前年比3.7~6.5%減の1キログラム当たり66~68バーツと予測します。
- タイの鶏肉の主な輸出先は、日本、英国、中国です。対中国は中国政府による国民の海外旅行解禁と外国人団体旅行の受け入れ再開により冷蔵・冷凍鶏が伸びる見通しです。

## タイ経済の動向

### □ 2023年3月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2023年3月の重要な経済指標によると、タイ経済は前月より成長が鈍化しました。輸出は収縮したものの、底を打ったものと推定されます。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復を背景に、サービス部門などの個人消費の改善がみられます。また、輸出停滞の要因で製造業の生産や民間投資を下押ししています。

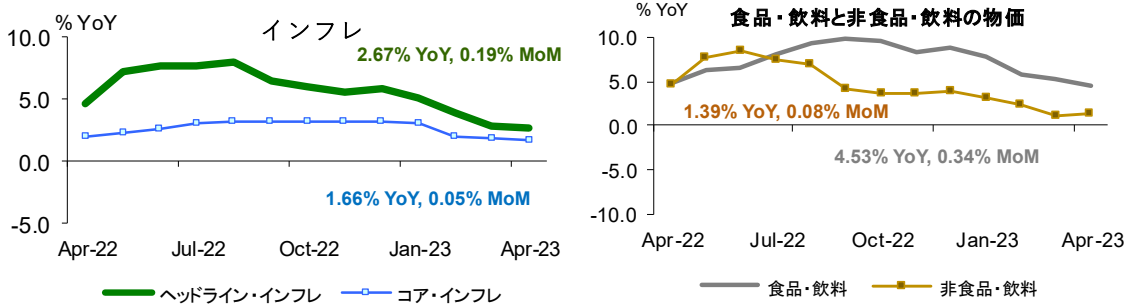


3月の民間消費は前年同月比6.0%拡大し、前月から加速しました。サービスが28.2%増と全体を牽引しています。このほか、耐久消費財は3.0%、非耐久消費財が2.6%、半耐久消費財が0.7%の拡大となっています。

一方で、民間投資は、前年同月比1.6%減少しました。機械・設備を中心とした資本財の輸入が3.6%減となったほか、商用車の販売が17.7%減となっています。

3月の輸出は、前年同月比5.8%減の271億米ドルとなりました。輸出は主な仕向け地で需要が停滞していることから、悪化が続いています。しかし、世界経済が回復の兆しを示していることから、今後の輸出動向は改善に向かうと推定されています。

工業生産に関しては、前年同月比4.6%縮小しました。輸出の落ち込みが製造業の業績を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人の増加で、観光業を中心にサービス業と消費が活発になっています。



出所：MoC, KResearch

商務省が発表した2023年4月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比2.67%上昇しましたが、16ヶ月で最低水準となりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.66%増で、前月から減速しています。

食品・飲料部門は4.53%上昇しました。果物・野菜が10.2%と、最も上昇率が高まりました。それ以外では卵・乳製品が4.97%、米・粉製品が5.11%、総菜類が4.27%、肉・魚が3.18%、非アルコールが4.52%の上昇でした。調味料は0.03%上昇にとどまっています。

## 2023年のタイ鶏肉の輸出額は4.5%増の見通し

カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ鶏肉の輸出額が4.5%増の42億6,000万米ドルになると予測します。欧州連合（EU）や米国、日本における鳥インフルエンザの流行が輸出を後押しする見通しです。また、2023年の鶏肉（内臓付き生鮮1羽）の平均小売価格は、前年比3.7~6.5%減の1キログラム当たり66~68 バーツと予測します。

タイの鶏肉の主な輸出先は、日本、英国、中国です。対中国は中国政府による国民の海外旅行解禁と外国人団体旅行の受け入れ再開により冷蔵・冷凍鶏が伸びる見通しです。韓国やサウジアラビアの市場開拓、鶏肉輸入国のマレーシアやオランダ、アイルランド、フィリピンの需要次第ではさらに成長する見込みです。

監修：カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。